



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2017.4

No.396

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



奥日光で野鳥の囀りを覚える

藤原寛治(さいたま市)

これからの季節、渡り途中の夏鳥たちを市街地の公園でも見かける機会が増えてきます。そして、山では本格的な夏鳥のシーズンを迎えます。野鳥の声で種類がわかったら素敵です。今月号は、野鳥の囀りを覚えたい方にお奨めです。

● はじめに

野鳥の囀りを楽しみながら覚えるには、もちろん夏鳥の多くいる探鳥地に行くのが早道です。でも、鳥の囀りが多すぎて、逆に何が何だかわからなかったという方もいます。

鳥の声のインプットの量が少ないと、どれも同じように聞こえ、区別が付きません。初めの内は準備も必要です。その場所には、どういう鳥がいて、どういうふうに鳴くのか、あらかじめある程度わかっているならば、声を楽しむ余裕も生まれます。そして当たりをつけて探せば、姿も見つけやすいですし、見つけた鳥が想像通りだったときの喜びはまた格別です。

そのようなシミュレーションを4月からしておきます。そして実践のお奨めの場所は、奥日光です。特に夏鳥が多く見られる5月は、まだあまり葉が茂っていないので、鳴いている野鳥の姿をその場で確認できます。声だけではすぐ忘れませんが、同時に姿も見られれば脳のしわに刻み込まれる確率は高くなります。

それでは、赤沼から戦場ヶ原を通過して湯滝までのコースを疑似体験してみましょう。

● 赤沼から泉門池 (いずみやどいけ)

まず、赤沼のバス停の脇から沢沿いの道を通り、戦場ヶ原から泉門池を目指します。歩き始めると、ゆったりとしたアオジの囀りが木々の天辺の方から聞こえてきます。ホオジ



ノビタキ

ロに似ていますが、テンボがゆっくりです。声のする方を探してもなかなか見つかりません。ホオジロと違い天辺にはあまり出ないようですが、丁寧に探すと胸の黄色の目立つアオジが見つかります。キビタキはテンボよく鳴いています。時々、コジュケイのような、セミの仲間のツクツクボウシのような声を混ぜて明るく囀ります。囀りの初めに「フィーチャー」という声を出すことが多く、慣れるとその声を聞くだけでキビタキとわかります。

「チチピン、チチピン」とテンボよく囀りながら枝移りするヒガラの姿も見られます。「ツピー、ツピー」と囀るジュウカラもいますので、テンボの違いに気を付けてください。ここではコガラも見られます。コガラの囀りは「ホヒー、ホヒー」というやわらかな感じの澄んだ声です。ちなみに地鳴きは濁った声で「ジャー、ジャー」と聞こえます。

右に折れ、短い橋を渡り、戦場ヶ原と湯川の間木道に入ります。右手の戦場ヶ原からエコーのかかったようなノビタキの澄んだ声が聞こえてきます。探すと丈の低い灌木の上でさえずっている白と黒のコントラストの鮮やかな姿が見つかります。近くに早もいます。もう少し進むとホオジロの囀りを短くしたようなホオアカの声も聞こえてきます。灌木の天辺で鳴いています。オオジシギの「ズビヤク、ズビヤク」という声も戦場ヶ原の方から聞こえてきます。運がよければ、雷シギと言われる所以の風切り音を轟かせて、「ズビヤク、ズビヤク」と鳴きながら上昇と急降下を繰り返す豪快なディスプレイフライトを見ることが出来ます。早朝か、日中ならあまり天気の良いときの方が見られる確率が高いようです。

湯川の方からは、金属的なキセキレイの声



ニュウナイスズメ

が響いてきます。ヒバリに似た声で複雑な歌を囀っているのは、別名「木ひばり」とも言われる**ビンズイ**です。キビタキの声も聞こえ、遠くから**ゴジュウカラ**の「ピピピピ…」とか「フィー、フィー」という囀りも聞こえてきます。この辺りの林には**コサメビタキ**が多く、早口の複雑な囀りが聞かれたら大概**コサメビタキ**です。ヒガラも鳴いています。**エナガ**もいます。「ジュリッ」とか「ブリリッ」とか聞こえる声で気づかされます。木道を歩いて聞こえる「ピー」とか「チュッ」というような声は**ニュウナイスズメ**です。「キョッ、キョッ」と鳴きながら飛ぶのは**アカゲラ**ですが、時に**オオアカゲラ**のことも。**カッコウ**や**ホトトギス**もいます。**ジュウイチ**の声も聞こえます。**アカハラ**の「キョロン、キョロン、チリリ」という囀りも聞こえます。泉門池に近づいてくると「チョチョビー」と鳴く**センダイムシクイ**の声が聞こえてきます。酒好きの人には、これが「焼酎一杯ぐいー」と聞こえるそうですが。

さて、泉門池の休憩所に到着です。ここでは、キビタキ、時には**オオルリ**の囀りと姿を楽しむこともできます。オオルリは、鳴き終わりを必ず「ジジ」でしめる律義者ですので、最後にこの声が聞こえるとオオルリだとわかります。

● 泉門池から湯滝へ

泉門池から先は、林の中を通り湯川に沿って木道を進みます。林には、**キバシリ**、**キクイタダキ**もいます。キクイタダキは尻上がりに高くなるような早口の声で鳴いています。

林を抜けて、湯川沿いの道に入ると**ミソザイ**の音量豊かな複雑なさえずりが出迎えて

くれます。日本で最も小さい鳥の一つですが、さえずりは存在感があります。「ビツ、ビツ」と鳴きながら、川の上を通過するこげ茶色の鳥は**カワガラス**です。川沿いの木道の周りでは、時として**コマドリ**や**コルリ**の囀りが響きます。コマドリは「ヒンカラカラ」というような声ですが、姿はなかなか見られません。コルリの声はコマドリに似ていますが、音量が落ちるので、よく聞くと「チツチツ」という前奏が入るので区別できます。また、鳥の声とは思えない、軋むような高い声で「ヒツキー、ヒツキー」と聞こえる声で鳴くのは**エゾムシクイ**です。「ゼニトリ、ゼニトリ」と鳴く**メボソムシクイ**もいます。湯川沿いの道では、他にキビタキ、オオルリ、ヒガラ、ゴジュウカラなどがいます。

木道を進み小滝まで行くと、道は二手に分かれます。右へ行くと小滝の脇を通り、湯川沿いを進み、カワガラス、ゴジュウカラ、ミソザイなどを楽しみながら、湯滝の先のお店の脇に出ます（近道はこちら）。左の方に進路をとると階段を昇り、林の中を通り、エゾムシクイ、キビタキ、オオルリなどの声を聞きながら終点の湯滝に出ます。



ミソザイ

● 後は、実践あるのみ

奥日光は、代表的な夏鳥のほとんどを見聞きできる魅力的な場所です。できれば、今月号に出てきた野鳥の囀りをインターネット（バードリサーチ鳴き声図鑑等）やCD等で、何度も聞いて、それから出かけてみてください。きっと、これまでより野鳥の声が耳に入りやすくなっていることに気が付きます。バードウォッチングの楽しさが広がりますよ。



野鳥情報

白岡市総合運動公園 ◇10月13日、ゴイサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、オオタカ、チョウゲンボウ、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、モズ、メジロなど。10月20日、ゴイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、バン、ハクセキレイ、セグロセキレイ、モズ、エゾビタキ、エナガ、シジュウカラ、メジロなど（長嶋宏之）。

蓮田市黒浜沼 ◇10月16日、キセキレイ4羽、渡りの途中か？ ハクセキレイ2羽、セグロセキレイ1羽、タシギ1羽。水面には、キンクロハジロ2羽、コガモ30羽、カイツブリ11羽、カワウ、モズなど（鈴木紀雄）。

蓮田市閩戸・駒崎周辺 ◇10月12日、大豆畑でカワラヒワ約30羽、ノビタキ1羽。10月14日、今季初めてホオジロを1羽確認。ノビタキ1羽。川土手でバン1羽。10月18日、田んぼの上空でチョウゲンボウがホバリング。堤外公園の桜の木でアカゲラ1羽。10月20日、カワセミ♂2羽を同じ場所で確認した。休耕田でノビタキ1羽。10月21日、ノビタキ、電線にとまっていた。大豆畑でノビタキ2羽、電線に止まっていた個体とは別個体。ハシボソガラス20羽近くの群れの中に今季初めて5～6羽のミヤマガラスを確認した。10月23日、休耕田でノビタキ1羽、ノビタキを確認できたのはこれが今季最後になった。10月25日、ジョウビタキ♀♂、今季初認。10月26日、前日と同じ場所でジョウビタキ♀♂。電線で亜種オオカラヒワ4羽、今季初認。10月27日、29日、ジョウビタキ♀1羽を確認した（関口明宏）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇10月18日、曙プレーキ跡地にてエナガ、シジュウカラ、メジロ、コゲラの混群の中に、1羽だけ頭の白いエナガがいた。ちょっと珍しいので報告します。山溪ハンデイ図鑑7 新版日本の野鳥p.498では「エナガの幼鳥は

全体に淡色で、淡い葡萄色味はない」とあるが、写真の個体は「下腹部から下尾筒は淡い葡萄色」がある。また、p.499では「亜種シマエナガは～」。頭部全体が白いこと以外は、亜種エナガと変わらない」とある。まさかと思うが・・・（石川敏男）。（千葉県北西部に出現する「白いエナガ」の謎 柴田佳秀 BIRDER 2013年10月号p33 をご参照ください。編集部）◇10月23日、カケスが目立つ。他にエゾビタキ2羽、キビタキ♀タイプ1羽。ブッシュから数mの高さに上がった小鳥を確認したらキビタキ♂1羽！と思う間もなく別の鳥がキビタキを追いかけ、2羽は離れ離れにブッシュの中へ。追いかけたのは、ジョウビタキ♂だった（鈴木紀雄）。

滑川町武蔵丘陵森林公園 ◇10月18日、カイツブリ、カワウ、アオサギ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、トビ、コジュケイ、コゲラ、ヒヨドリ、モズ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ガビチョウなど（長嶋宏之）。

春日部市薄谷 ◇10月19日午前7時5分頃、安之堀川（農業用排水路）の東岸沿い、収穫前の稲田近くで丈の高い草の茎にとまるノビタキ1羽を見つけた（下写真）。当地今季初認。同時に上記の田の稲穂から出たり入ったりする2羽のセッカを認めた。更に同じ稲田から飛び出して安之堀川のフェンス上に止まった1羽の小鳥。体型はヒタキ型、スズメより小さく尾を上下に小刻みに振った。明るい褐色の体羽。そしてすぐに川の中のヨシ群落に隠れてしまった。ジョウビタキ♀と思われる。当地今季初認（石川敏男）。



春日部市内牧公園 ◇10月19日午前10時30分

頃、アスレチック公園内のじゃぶじゃぶ池周辺にて、ジョウビタキの「ヒッ、ヒッ、ヒッ」の声を聞いた。当地にもようやく飛来したと思われる(石川敏男)。

蓮田市黒浜沼(5339-7584) ◇10月20日、環境学習館に所用があり、その前後に冬鳥の飛来を期待し探すと、ここでは珍しいスズガモがいた。他にはマガモ、コガモが多数、オナガガモ、キンクロハジロも確認できた。10月22日、前日のN氏らの黒浜沼でツルシギが初めて観察されたとの情報で探すも不在だったが、今季はじめてのオオバン、アリスイ、シメを観察することができた(田中幸男)。

桶川市後谷調整池 ◇10月21日午前6時1分、マガモ♂3羽♀2羽、今季初認。10月29日午前6時5分、ジョウビタキ♀1羽、ヒドリガモ♂8羽♀18羽、共に今シーズン初見(小貫正徳)。

伊奈町小室(N36.0065, E139.6304) ◇10月21日、ミヤマガラス5羽がハシボソガラス15羽土とひこ生えが生えた田圃で採餌。今季この田圃での初認(長嶋宏之)。

川越市伊佐沼 ◇10月22日、水面上をクロハラアジサシが舞う、3羽確認。イソシギ3羽、タシギ1羽、ハマシギ4羽、アオアシシギ2羽、コアオアシシギ2羽、オジロトウネン3羽、セイタカシギ3羽とけっこうにぎやか。他にカワセミ、アオサギ、コサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、キンクロハジロなど(鈴木紀雄)。

さいたま市緑区上野田 ◇10月22日、小さな流れで採餌中のタシギ2羽。田んぼのハシボソガラス15羽の群れ中にミヤマガラス2羽(鈴木紀雄)。

さいたま市緑区見沼自然公園 ◇10月22日、亜種オオカワラヒワ44羽が電線に止まっていた。渡って来たばかりのようだ。他にカルガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、オオバン、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シジュウカラ、ハシブトガラス(長嶋宏之)。

さいたま市西区の鴨川 ◇10月22日夕方、島根橋付近の浅瀬でコサギ6羽。10月24日、

上流の小堰下の小低木で同時にジョウビタキ♂1羽♀1羽、カワセミ1羽。近くにキセキレイ1羽。イタチも1匹。「鴨川みずべの里」の広場でエゾビタキ2羽。度々フライングキャッチを試み、トンボを捕えてごくりと飲み下したり、ガガンボを捕え損ねたり。11月1日、植田谷堰～学校橋でオカヨシガモ♂3羽。川沿いの田んぼでカルガモ40羽+が採餌(大塚純子)。

鴻巣市大間一丁目 ◇10月25日午後2時45分、どこからともなくジョウビタキの声。今季初認。10月30日、姿を確認。♂だった。10月31日午前8時30分、トビ2羽が、ヒメアマツバメがまわりつき中、鳴きながら低く旋回。1時間後にまた見ると、空の高みにトビ3羽、ツミ1羽(榎本秀和・みち子)。

幸手市内国府(N36.0934, E139.7221) ◇10月28日、権現堂桜堤でモリムシクイがメジロ、シジュウカラと共に枝移りしていた(長嶋宏之)。

北本市北本自然観察公園 ◇10月30日、ひょうたん池の奥の方にカワセミを発見。なんとヤゴを捕らえて食べていた。ヨシ原の奥からベニマシコの声が聞こえた(大畑祐二)。

蓮田市西城沼公園周辺 ◇10月30日、ジョウビタキ♂が民家のアンテナにいた。今季ここでの初認。ハシブトガラス3羽が白くなったナンキンハゼの実を食べていた(長嶋宏之)。

さいたま市中央区与野公園 ◇11月12日、公園内弁天島の水場でアトリ10羽土。弁天池での2度目の冬を前に換羽を終えた居残りマガモ♂1羽が姿を消した。仲間を求めて遂に旅だったのであろうか(大塚純子)。

蓮田市黒浜沼(5339-7584) ◇11月12日、チョウゲンボウが沼の田んぼで狩りをしていた。高木に20羽ほどの小鳥がとまる。この秋各地で飛来情報のあるアトリで、今季初認(田中幸男)。

表紙の写真

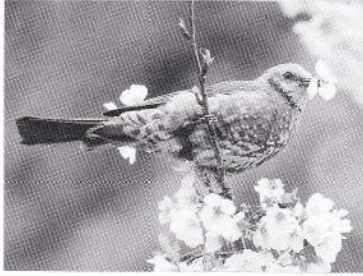
キジ目キジ科キジ属キジ

いつもの散歩コースで出会いました。

鶺鴒喜雄(深谷市)



行事案内



ヒヨドリ (榮 武男)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

鉄道・バスのダイヤ改正の時期です。この案内は、執筆当時の情報に基づいていますので、変更があるかもしれません。ご注意ください。

松伏町・まつぶし緑の丘公園 写真探鳥会

期日：4月1日(土)

集合：午前9時、松伏町まつぶし緑の丘公園 管理棟内、レクチャールーム。

交通：東武伊勢崎線 せんげん台駅東口、茨急バス③番乗り場から松伏町役場行き 8:47 発で「まつぶし緑の丘公園」下車。

担当：佐野、菊川、廣田

内容：コンパクトデジカメは買ったものの、鳥の写真がどうもうまく撮れないという方へ、写真の基礎から野鳥撮影のテクニックまでをご紹介します。室内での講習後、公園内で探鳥しながら撮影会。撮った写真の講評も。ご案内：カメラをお持ちの方はご持参ください。購入予定の方もご参加いただけます。

費用：探鳥会参加費+200 円 (レクチャールーム使用料)。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：4月2日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス 8:36 発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、

浅見(徹)、大坂、大畑、岡安、近藤、柴田、立岩、飛田、内藤、永野、村上、山野、吉原(早) 見どころ：桜を愛でながらの探鳥会。江戸彼岸、染井吉野に蒲桜、今年は何れが満開か。鳥も探します。昨年は、30 種を確認。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：4月2日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園 駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き 8:37 発で「念仏橋」下車。

担当：伊藤、大井、須崎、高崎、手塚、野口(修)、藤田、若林

見どころ：年1回のヘルシーロードコース。途中途中に咲く花々と、来てくれてるかな、夏鳥と山の鳥達。

ご注意：状況によっては、コースを変更する場合があります。調節のできる服装で。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：4月8日(土)

集合：午前9時30分、西武狭山湖線 西武球場前駅前。

担当：石光、久保田、小林(ま)、島崎、鈴木(秀)、長谷部、水谷、持丸

見どころ：夏羽のカムリカイツブリを見送り、先駆けの夏鳥を探します。湖畔の桜もまだ十分楽しめるでしょう。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：4月9日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道 熊谷 9:09 発、または寄居
8:50 発に乗車。

担当：榎本（秀）、新井、鶴飼、倉崎、田島、
千島、飛田、中川、村上、茂木
見どころ：ウグイスのさえずりにツバメの飛
翔…、春の訪れを実感。さあ、冬鳥にお別
れを告げに、野鳥の森を歩きましょう。

長瀬町・宝登山探鳥会

期日：4月9日（日）
集合：午前9時40分、秩父鉄道 長瀬駅前。
交通：秩父鉄道 御花畑 8:59→長瀬 9:19。ま
たは、寄居 9:21→長瀬 9:39。
解散：12時半～13時ころ、宝登山山頂ロー
プウェイ駅前広場。

担当：井上、鶴飼、佐久間、堀口、松下
見どころ：桜が見ごろ。お弁当を持って一緒
に登りましょう。昨年は猛禽類を6種確認
です。今年はどうでしょうか。
その他：鳥の初心者の方、大歓迎。ゆっくり
登ります。飲み物、お菓子と寒暖対策を！

東京都日野市・多摩動物公園探鳥会 （要予約）

期日：4月9日（日）
詳細は、3月号をご覧ください。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：4月15日（土）午後3時～4時ころ
会場：会事務局 108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：4月16日（日）
集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東
口、集合後路線バスで現地へ（ご注意：案内
人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です）。
または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
後援：さいたま市立浦和博物館
担当：須崎、青木、浅見（健）、浅見（徹）、楠見、
小菅、小林（み）、新部、畠山、増田
見どころ：春色一杯の見沼田んぼ。主役は、
渡ってきたツバメやコチドリ、天高く囀る
ヒバリ。オオタカも気持ちよく舞うかも。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月16日（日）
集合：午前9時15分、アスレチック広場前・
第一駐車場。
交通：東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り
場から春日部エミナース行き 8:41 発で
「共栄大学入口」下車。西へ徒歩約7分。
担当：石川、菊川、佐藤、佐野、進士、野村、
橋口、吉岡、吉安
見どころ：冬鳥・漂鳥を見送り、夏鳥に出会
える季節です。雑木林や屋敷林、田んぼや
畔、草地、用水路土手などを歩きます。
帰りのバス：上記バス停発春日部駅西口行、
13:07、14:20（2月現在有効のものです）

東京都・三宅島探鳥会（要予約）

期日：4月21日（金）～23日（日）
定員に達しました。

埼玉 Young 探鳥会 さいたま市・秋ヶ瀬公園

期日：4月22日（土）
集合：【電車の方】午前8時20分、JR浦和駅
西口集合。集合後路線バスで現地へ。【車
の方】午前9時、桜区役所バス停付近集合
（桜区役所内の駐車場は有料）。
担当：廣田、石塚（敬）、石塚（真）、島崎、高崎、菱沼（一）
見どころ：田園で春を感じるキジ、ヒバリな
ど。公園内ではキビタキ、オオルリなどの
夏鳥の通過に期待！ ヤング、親子連れ、
初心者の方々、お待ちしております！
その他：①駅集合の方は、バスで移動するた
め時間厳守で。②13時半頃解散。弁当持参。

さいたま市・秋ヶ瀬公園探鳥会（平日）

期日：4月26日（水）
集合：午前9時10分、桜区役所バス停付近。
交通：JR浦和駅西口②番バス乗り場から桜区
役所行き 8:32 発で終点「桜区役所」下車。
担当：小林（み）、石塚（敬）、石塚（真）、海老
原（教）、海老原（美）、金子、新部、増田
見どころ：新緑がまぶしい雑木林も、水が入
って田植えを待つばかりの田んぼも、渡り
鳥のための臨時サービスエリア。そっとの

ぞいてみましょう。

お知らせ：「ビギナー探鳥会」を並行開催。

栃木県・小倉山森林公園探鳥会

期日：4月29日（土・祝）

集合：午前8時30分、東武日光駅前。集合後徒歩で現地へ。

交通：東武スカイツリー線 快速東武日光行 春日部6:53発で東武日光駅8:25着。またはJR日光駅8:25着で東武日光駅まで徒歩7分。

解散：昼食後に現地にて。

《要 弁当持参》東武日光駅でも買えます。

担当：青木、浅見(健)、浅見(徹)、佐野、長野
見どころ：オオルリ、コサメビタキ、キビタキの出現率ほぼ100%！ まだオオルリを見ることがない初心者の方、お待ちしております。

ご注意：前日(4/28)17時発表の、宇都宮地方気象台気象情報 0288-177 で、栃木県北部4/29 午前中の降水確率が60%以上の場合は中止です(担当者も現地に行きません)。

シギ・チドリ類県内調査

期日：4月29日（土・祝）

野鳥の会埼玉では、春と秋の2回、独自にシギ・チドリ類の調査を行っています。多くの会員の参加・ご協力をお願いします。

◆大久保農耕地（さいたま市）

集合：午前9時30分、荒川総合運動公園運動場北東側駐輪場わきの広場（横堤の下）。

解散：集合場所で、正午頃の予定。

交通：浦和駅西口②番バス乗り場から大久保浄水場行き8:33発で終点「大久保浄水場」下車、徒歩約15分。

担当：石井

その他：調査のため、参加費は不要。小雨決行。大雨や悪天候の場合は中止。なお、シギ・チドリ類が大変少ないこともあります。

入間市・さいたま緑の森博物館探鳥会 (要予約)

期日：5月7日（日）

集合：午前7時30分、西武池袋線小手指駅南口。集合後西武バス宮寺西行き7:40発で現地へ。または午前8時20分、緑の森博物館管理事務所前。

解散：正午頃、管理事務所付近の予定。付近に飲食施設なし。弁当持参が安心です。

定員：20名（埼玉会員限定、先着順。探鳥地の環境保全に配慮し、定員制とします。）

申込み：往復はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、交通手段（電車か自動車か）を明記して、石光章

）まで。4月1日消印から受付有効とします。

担当：石光、小林(ま)、島崎、星、水谷、持丸、山本
見どころ：狭山丘陵の豊かな森で、キビタキやウグイスの盛大なソング・シャワーに浸ることが出来ます。心が洗われますヨ。

長野県・戸隠高原探鳥会（要予約）

期日：5月27日（土）～28日（日）

集合：27日午前9時、長野駅コンコース、新幹線改札口を出て右側。

交通：新幹線「あさま601号」（東京6:52→大宮7:18→熊谷7:31→高崎7:49→長野8:40着）、または「かがやき503号」（東京7:20→大宮7:46→長野8:43着）など。

解散：28日16時頃、長野駅前、はくたか568号（16:18発）、あさま624号（16:23発）に乗車できるように調整します。

費用：13,800円（1泊3食、現地バス代、温泉入湯料、旅行保険料等）。集合地までの往復交通費は各自負担。

定員：20名（日本野鳥の会会員限定、先着順、埼玉会員優先）。

★今回の探鳥会は、近畿日本ツーリスト（株）の受注型企画旅行となります。参加者が確定後、同社からご案内が郵送されますので、参加費を振り込んでください。

申し込み：往復はがきに住所、氏名、旅行時の年齢（保険加入に必要）、性別、電話番号、喫煙の有無を明記して、菱沼一充（

）まで。4月

1日消印から有効受付とします。

担当：菱沼（一）、浅見(徹)、近藤、菱沼(洋)
見どころ：夏鳥たちとの出会い。明け方の鳥のコーラスや草花、温泉、おそばと、盛りだくさんの探鳥会です。

注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室の用意はできません。

2017年5月～8月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもありますので、確定情報は、当月の会誌『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

月	日	曜日	探鳥地など
5	3	祝水	幸手市 宇和田公園
	5	祝金	千葉県 谷津干潟
	7	日	入間市 さいたま緑の森博物館 (要予約)
	12	金	長野県 中軽井沢 (平日) レディース
	13	土	加須市 加須はなさき公園
	14	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	20-21	土-日	栃木県 県民の森・奥日光 (要予約)
	21	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	27	土	群馬県 渡良瀬遊水地 ヤング
	27-28	土-日	長野県 戸隠高原 (要予約)
6	28	日	狭山市 入間川 [定例]
	3	土	坂戸市 高麗川
	4	日	北本市 石戸宿 [定例]
	4	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	8	木	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	11	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	18	日	さいたま市 三室地区 [定例]
7	25	日	支部総会 (午前)
	2	日	群馬県 渡良瀬遊水地
	9	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	15	土	川越市 伊佐沼 ヤング *
	16	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	23	日	狭山市 入間川 [定例]
8	29-30	土-日	長野県 乗鞍・上高地 (要予約)
	6	日	北本市 石戸宿 [定例]
	12	土	千葉県 谷津干潟
	13	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	19	土	千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園
	20	日	さいたま市 三室地区 [定例]
9	27	日	リーダー研修会
	23-24	土-日	長野県 白樺峠・畳平 (要予約)

*印：並行して「ビギナー探鳥会」を開催

5月～8月「たくさん見える！」予報

2012～2016年の5月から8月の探鳥会で見られた野鳥は、県内で77種、県外で162種でした。多種を見たい人のために、5年間の月ごとの出現鳥種数が多い順に探鳥会を並べてみました。今回は、探鳥会の数が少ない季節なので、県外も含めたら

ンキングにしました。新しく探鳥会が行われる探鳥地としては、7月の伊佐沼があります。伊佐沼では、2016年5月に写真撮影会が行われましたが、探鳥会は初めてです。どんな鳥が見られるか楽しみですね。

	5月	6月	7月	8月
1	戸 隠	民家園	群馬渡良瀬	谷津干潟
2	(三宅島)	高麗川	乗鞍-上高地	三番瀬
3	谷津干潟	石戸宿	大麻生	石戸宿
4	奥日光	大麻生	入間川	三 室
5	(浮島-小見川)	(群馬渡良瀬)	三 室	大麻生
6	(黒浜沼)	羽生水郷	森林公園	—
7	入間川	(新湯銀山平)	(乗 鞍)	—
8	大麻生	三 室	—	—
9	軽井沢	—	—	—
10	宇和田公園	—	—	—
11	栃木県民の森	—	—	—
12	はなさき公園	—	—	—
13	(栃木小倉山)	—	—	—
14	三 室	—	—	—
15	緑の森	—	—	—
	63～24種	41～24種	43～9種	46～25種

() 付き：今回は設定されていない探鳥会

5月～8月「あの鳥は、どこで」予報

探鳥会が少ないので、臨時に復活させました。2012～2016年の5月から8月の県内探鳥会における出現率(出現回数/実施回数)です。

- シラコバト (5月に宇和田公園で100%)
- ササゴイ (5月と7月に入間川で100%)
- ホトトギス (7月に大麻生で80%、6月に高麗川と大麻生で60%)
- カッコウ (6月に石戸宿で40%)
- ヒメアマツバメ (入間川で7月に80%、5月に40%)
- ムナグロ (5月に宇和田公園で50%)
- コチドリ (5月に宇和田公園で100%、三室、入間川、黒浜沼で80%、はなさき公園で60%)
- コアジサシ (6月に羽生水郷公園で67%、民家園で60%)
- ツミ (7月に入間川で60%、大麻生で40%、8月に石戸宿で40%)
- イワツバメ (5月に入間川で100%)
- コムクドリ (三室で7月に60%、8月に40%)



行事報告

10月30日(日) 松伏町 まつぶし緑の丘公園

参加: 64名 天気: 曇

ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ
コガモ ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ
キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ
ダイサギ チュウサギ コサギ バン オオバン
イカルチドリ コチドリ イソシギ トビ オオ
タカ カワセミ チョウゲンボウ モズ オナガ
ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ
ヒバリ ヒヨドリ ウグイス ムクドリ ジョウ
ビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ
カワラヒワ ホオジロ アオジ (40種) (番外: ド
バト) 公園の池のカモは7種と平年並みでミコ
アイサの顔はまだ見えない。周辺の屋敷林では冬
鳥が姿を現し、また古利根川ではいつものシギチ
が楽しませてくれた。(橋口長和)

11月20日(日) 嵐山町 菅谷館都幾川

参加: 41名 天気: 晴

カイツブリ キジバト カワウ アオサギ
ダイサギ ハイタカ オオタカ ノスリ カワセミ
コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス
ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ
ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ
ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ
ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ
ホオジロ カシラダカ アオジ (33種) (番外: ド
バト、ガビチョウ) 紅葉の始まった雑木林でシ
ジュウカラ、メジロ、エナガ、ヤマガラ、モズを
観察。都幾川に出ると、オオタカが上流に飛び、
対岸の木にカワセミがとまっていた。水際にセグ
ロセキレイ、キセキレイがいて、道の水たまりで
アオジ♀が水浴びをしていた。上流に行くとノス
リが帆翔していてじっくり見ることができた。対
岸の木にツグミ、シメがとまり、林の上をタカが
滑翔、林に飛び込んだ。ハイタカみだった。対岸
に渡ると、シロハラが高い木の梢付近にとまっ
ていた。ヒバリが鳴き、ジョウビタキ♀が草地に姿
を見せ、ダイサギが飛んだ。(千島康幸)

11月20日(日) さいたま市 三室地区

参加: 57名 天気: 晴

オカヨシガモ ヨシガモ マガモ カルガモ コ
ガモ カイツブリ キジバト カワウ ゴイサギ
アオサギ ダイサギ コサギ バン オオバン
イソシギ カワセミ コゲラ モズ オナガ ハ
シボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ
ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ
シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハク
セキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ
ホオジロ カシラダカ アオジ (38種) (番外: ド
バト) 前日の雨が影響して芝川沿いは濃い霧に
包まれた。そんな中でもシメ、ジョウビタキ、ツ
グミといった冬鳥を観察。霧が晴れた後半は芝川
沿いへ。早速、カワセミが出迎えてくれた。カモ
類も5種観察。猛禽類は見られなかったが、「冬鳥
到来」を感じた。(須崎 聡)

11月23日(水、祝) 本庄市 坂東大橋

参加: 16名 天気: 曇

ヒドリガモ カルガモ コガモ カイツブリ
カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ
ダイサギ シロチドリ ハマシギ ミサゴ トビ
ノスリ カワセミ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス ヒバリ ヒヨドリ ムクドリ ジョウビタ
キ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タ
ヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダ
カ (29種) 朝から風が強く、参加者は16名。小
鳥は藪に潜んでいるのか、なかなか姿を見せない。
前屈みになって風に耐える健気なノスリを見て水
辺に進む。中州で数羽のハマシギが採餌し、シロ
チドリも見える。ミサゴが上空を飛び、対岸には
カワセミが止まる。カモはまだほとんど来ていな
いが、今年もカンムリカイツブリが待っていてく
れた。(新井 巖)

11月23日(水、祝) 志木市 柳瀬川

参加: 41名 天気: 小雨後曇

ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ コ
ガモ カイツブリ キジバト カワウ ゴイサギ
アオサギ ダイサギ コサギ オオバン イカル
チドリ イソシギ ハヤブサ モズ ハシボソガ
ラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ
ムクドリ ツグミ スズメ キセキレイ ハクセ
キレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ

(29種) (番外：ドバト) 夜は雪予報の日、風が強い。開始直後に雨粒、続行が危ぶまれた探鳥会。次第に雨粒は小さく、風も少し弱まる。強い風で鳥の姿が見当たらなかった川面にも少しずつカモ類が戻ってくる。空を舞うハヤブサが鉄塔に止まる姿が見られ、田圃の杭にはモズが現れる。中州ではヒドリガモやコガモが群れを成しており、小学生の参加者が75羽までカウント。期待したアメリカヒドリには見えなかったが、寒さと強い風の中での探鳥会、無事に終了。(鈴木秀治)

11月24日(木) 戸田市 彩湖
雪のため中止。(小林みどり)

11月26日(土) 加須市 渡良瀬遊水地
参加：62名 天気：晴

コジュケイ キジ ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ トモエガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン イソシギ トビ チュウヒ ハイイロチュウヒ ノスリ カワセミ アリスイ コゲラ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ オオジュリン (49種) (番外：ドバト) 谷中湖もご多分にもれずカモが少ないのだが、トモエガモを含め10種を見ることができた。ただ、何と言っても今日の主役はベニマシコ。中の島の観察台を過ぎるあたりから声が聞こえ始め、何度も姿を見せてくれた。ハイイロチュウヒ(♀型)やアリスイも加わり、49種を確認した。(佐野和宏)

11月27日(日) 蓮田市 黒浜沼
参加：33名 天気：曇

キジ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ コサギ クイナ オオバン タシギ オオタカ カワセミ コゲラ アカゲラ チョウゲンボウ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ

イ アトリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン (39種) 出発して直ぐにツグミ、その後枯草の中に潜んでいるホオジロ類を始め定番の冬鳥はほぼ見ることができた。中でもベニマシコは多数来ているようで、あちこちで声が聞こえた。加えて久しぶりにアトリも姿を見せた。最後に電柱に止まったチョウゲンボウが狩りをする様をみんなで楽しんだ。(玉井正晴)

11月27日(日) 狭山市 入間川
参加：24名 天気：曇

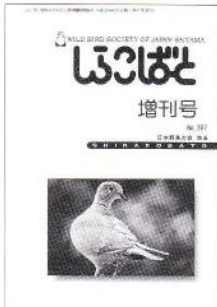
マガモ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ コサギ バン オオバン ヒメアマツバメ イカルチドリ イソシギ トビ カワセミ コゲラ アオゲラ チョウゲンボウ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (40種) (番外：ドバト、ガビチョウ) 11月に40種もの鳥を確認するのは久しぶり。最近あまり見かけなくなったゴイサギから始まり、入間川では少ないチョウゲンボウをしっかり観察、冬の小鳥類も次々現れてくれた。最後の稲荷山公園では、ほんの少しだったが、アオゲラも見られた。(長谷部謙二)

12月4日(日) 加須市 加須はなさき公園
参加：25名 天気：曇

キジ ヒドリガモ アメリカヒドリ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ オオバン コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ (28種) (番外：ドバト) カケスの声が園内に響き、アトリの群れとシメ、ツグミが見やすい樹冠に続いて出て皆の顔がほほ笑んだ。続くポート池ではヒドリガモの群れにアメリカヒドリの雄が1羽、ここでの初認だ。カワラヒワの黄色も順光で皆の足が止まる。青毛堀川ではコガモとキジの飛び立ちに歓声があがった。(長嶋宏之)

F 連絡帳

● 埼玉県野鳥分布調査 2005 年～2010 年 報告を『しらこぼと』増刊号として発刊



2005 年5月から5年間、夏鳥(5/10～7/10)、冬鳥(12/1～1/31)について会員の皆様にアンケート調査ハガキをお送りいただき、それに野鳥情報、探鳥会報告を加え整理して、地域メッシュ

に表示した結果を、研究部(部長:小林みどり)がとり纏めました。前回(1985年～1990年)から20年ぶりの調査でした。

調査期間からとり纏めまで大分年月が経過したことや、県内全域をカバーしていないことなどから、現在の県内の野鳥分布状態を完全に示すものとは言えませんが、前回の調査と比較することで、変化の一端を示すことができたと言えるでしょう。

調査にご協力いただいた会員の皆様にお礼申し上げます。本誌『しらこぼと』4月号に同封してお送ります。

● さいたま市緑区環境講演会開催

2月5日(日)午後2時から4時まで、緑区プラザイーストで、緑区環境講演会実行委員会主催、当会等後援により開催され、「見沼を食らう」(地産地消で見沼たんぼを再発見)をテーマとしてオーガニック・ハーベスト代表丸山文隆氏の講演、地元5名の農家によるディスカッションが行われました。参加者83名でした。

● 会員の普及活動

2月8日(水)武蔵丘陵森林公園で、彩の国シニア自然大学校「野鳥観察コース」第4回が開催され、小林みどり、榎本秀和、中村豊己、山部直喜が指導しました。

● 会員数は

3月1日現在1,710人。

活動と予定

● 2月の活動

2月11日(土) 3月号校正(海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、長嶋宏之、藤掛保司)。

2月15日(水) さいたま市緑区さぎ山記念館で開催された「見沼・さぎ山交流ひろば」第4回運営協議会に出席(小林みどり)。

2月19日(日) 役員会(司会:小林みどり、29年度鳥獣保護管理員推薦・その他)。

2月20日(月) 『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』3月号を郵便局から発送(事務局)。

● 4月の予定

4月1日(土) 編集部会。普及部会。

4月8日(土) 5月号校正(午後4時から)。

4月15日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

4月16日(日) 役員会(午後4時から)。

編集後記

近くの水路になじみのアオサギがいる。確か2月末はすすけた色の嘴と足だった。今日3月3日は、赤みを帯びたオレンジ色の嘴とうっすらと紅色の足に変身。サギの婚姻色はアオサギから始まる? (山部)

しらこぼと 2017年4月号(第396号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉(〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
 郵便振替 00190-3-121130 <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社